

2020年2月発行

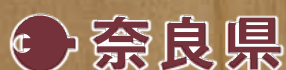
第6号

大和川 ジャーナル

特集 ■ **きれいで親しみのある佐保川を目指して**
■ **大安寺西 川辺のまちづくり協議会 会長 梅林 聡介**



奈良県平成緊急内水対策事業 ～ 田原本町 工事着手 ～



第1号工事着手 田原本町

平成30年5月、内水氾濫による床上・床下浸水被害の解消に向けて、『奈良県平成緊急内水対策事業』がスタートしました。

今年度からは、新たなステージとして、工事着手に移行し、10月26日に工事着手第1号として田原本町で起工祝賀式が行われました。田原本町社会福祉協議会駐車場及び田原本町埋蔵文化財センター駐車場において、令和3年春の竣工を目指して工事が進められています。また、起工祝賀式当日には、田原本町が令和元年9月に構築した「水位監視システム」もお披露目されました。



1. 起工祝賀式の様子 2. 水位監視システムの視察

社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設完成予想図(田原本町)

令和3年春頃 完成予定

施設概要	
総貯留量	5,066㎡ (駐車場表面貯留66㎡を含む)
構造	プレキャスト式雨水地下貯留施設
諸元	①設置面積 A=1,148㎡ 内空高 H=4.0m ②設置面積 A= 497㎡ 内空高 H=3.0m

①社会福祉協議会駐車場
地下貯留施設 (貯留量3,873㎡)

②田原本埋蔵文化センター駐車場
地下貯留施設 (貯留量1,127㎡)



田原本町 水位監視システム ~IoTを活用した水位計の設置~

田原本町では、河川の氾濫による浸水被害に備え、河川の水位をリアルタイムで観測し、**注意喚起のメールを自動配信する「水位監視システム」を導入**しました。



メリット

● プッシュ型水位情報通知によるリアルタイムな状況把握で**的確かつ迅速な防災対策が実現**

幾多の水害を経験したからこそ、 浸水被害の危機感を発信し、 率先して内水対策に取り組む

着工に至るこれまでの経緯と、田原本町の内水対策に対する思いについて、田原本町担当職員の方々に話を伺いました。



■内水対策の必要性と着工に至るまで

平成29年10月22日の台風21号の豪雨の際は、一級河川の水位が上がり、その支流の河川や水路もほとんどん水位が上がって、町内でも床上まで浸水するところも出てきて、鬼気迫る状況でした。またこの日は、衆議院議員選挙の投票日でもあったことから、町役場内はパニック状態にありました。あの日は一生忘れない日だと思っています。

今回、起工祝賀式を行った社会福祉協議会の周辺は、一級河川寺川に支川や水路が複数合流し、土地も低いため、過去から、田原本町の中でも一番浸水しやすい代表的なエリアであることはわかっていました。だからこそ、町として何とかしたい、浸水しやすいたことがわかっていいるなら、何か方法はあるはずだと考えていました。

そのような田原本町の状況だけでなく、当時は県内の多くの箇所でも内水による浸水被害があったことを受けて、荒井知事が内水対策を最優先で進めようと舵を切ってくださいました。その後は、公有地、民有地含めて、雨水を貯められる候補地を詮索し、適地選考委員会にて効果の検証と選定をして頂きました。

工事に着手した土地は町所有の公有地ということで、用地買収の必要がなく、まずここから内水対策のハード整備として始めて行くことにしました。

■内水対策に寄せる地域の期待

この第1号の起工祝賀式には、荒井知事はじめ高市総務大臣など多数の来賓の方々や、地元自治会のみなさんにも出席いただいたこともあって、地域の期待は大変大きくなっています。今回は町の土地でしたので、スムーズに着工も出来たと思いますし、整備が出来て、貯留施設の効果が目に見えてわかるようになれば、今後の貯留施設の整備に私有地なども

地買収が必要な箇所についても、地権者さんの協力もしていただきやすくなると思います。各自治会では防災意識が高まってきていますから、「内水対策の貯留施設が整備されて防災に強いエリアになった」と言ってもらえるようになるのではないかと、町職員一同願っているところです。

■町独自の水位監視システム

田原本町は、大和川をはじめ複数の一級河川に挟まれた地域で、災害に強い町をつくっていくためには、ハード整備だけでなく、降雨量や河川水位などの情報をきめ細かくリアルタイムで地域の方々に提供し、共有、周知するソフト対策も非常に大事なことで認識しています。特に、洪水時に浸水の要因となる河川での水位観測を行えるよう、町独自の水位監視システムを昨年9月から運用を開始しました。

寺川の支川かんじょう川に水位観測施設を設け、リアルタイムで観測し、注意水位、危険水位になると、「水位になりました」という注意喚起のメールが、登録された住民の方へ届くように取り組んでいます。情報はスピードが命ですので、まずは迅速に避難行動がとれる体制をつくりたいです。

■さらなる対策の重要性をアピール

こうしたハード、ソフトで対策しても、やはり大切なのは住民のみなさんの自助・共助の心構えと日頃の準備です。公がやらなければならない事は一歩ずつでも進めていかなければならない、それがあからこそ住民のみなさんの自助・共助も促せると考えています。

そのためにも、内水対策に限らず、河川の堆積土砂の浚渫や河道拡幅などのハード整備はやはり大事で、大和川流域の市町村は亀の瀬に負担をかけないように、みんなで流域対策をしていくことが我々の責務だと思っています。

大規模広域豪雨への備え

近年は、平成30年7月豪雨や令和元年台風19号豪雨など、これまでに経験したことがないような大規模広域豪雨が発生しており、全国いつでもどこで発生してもおかしくありません。

これに対して、平成30年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を踏まえ、本県が取り組んでいる治水対策の内容を紹介します。

また、これらの豪雨災害では、これまでの行政主導の避難対策に限界があることが明らかとなり、国民一人ひとりが主体的に行動しなければ命を守ることは難しいという課題が明確になったことから、県民のみなさまが日頃から災害に備えるために役立つ防災情報の確認方法を紹介します。

～防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策～ 県の取り組み

ハード対策

- 流下阻害の原因となる河道内の樹木伐採・河道掘削

ソフト対策

- 想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域図の作成
- 洪水時の的確な避難を図るため危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置

秋篠川 樹木伐採工事の状況

工事前



工事後



流下阻害の原因となる河道内の樹木を伐採

秋篠川 危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置



「自らの命は自らが守る」意識をもつ

災害は突然やってきます。災害時に自らの命を守るため、みなさま一人ひとりが、お住まいの場所に関する災害リスクや避難行動を日頃から確認しておき、ご家族や地域の方々とも共有しておくことがとても大切です。

避難のときは、ご近所で助け合って早めの避難を心掛けましょう！



防災情報の確認方法

	情報の種類	内容
日頃からの備え	災害危険箇所 避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ● お住まいの地域の過去の浸水実績や洪水浸水想定区域、洪水ハザードマップなどを確認して、災害危険箇所や避難場所を把握 <p style="text-align: center;">主な入手先</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 奈良県ホームページ 「大和川流域浸水実績図 (①)」 「洪水浸水想定区域図 (②)」 「洪水ハザードマップ (③)」 「土砂災害警戒区域等 (④)」 ● お住まいの市町村の配布物 「洪水ハザードマップ」 など
	各家庭での準備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常時に備えて、非常食品などの備蓄品や非常持出品を準備 ● 家族が離れ離れになった時の集合場所や連絡方法を確認 <p style="text-align: center;">主な入手先</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 奈良県ホームページ 「わが家の災害対策 (⑤)」内の チェックリストや避難カードもご活用ください。
災害時に確認	避難情報 気象情報 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民に避難を促す必要がある場合に市町村が発令する避難情報（避難勧告など）を確認 ● 気象警報や注意報、今後の雨雲の動きや各種災害の危険度などを確認 <p style="text-align: center;">主な入手先</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレビ、データ放送、ラジオ、お住まいの市町村HP など ● 気象庁ホームページ「防災情報 (⑥)」
	雨量・河川水位 河川監視カメラ ダム情報 など <p>河川監視カメラの映像 (例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内各地の観測所で観測している雨量や河川、ダムの水位を確認 ● 河川監視カメラで河川の状況を確認 <p style="text-align: center;">主な入手先</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国土交通省ホームページ「川の防災情報(⑦)」 ● 奈良県ホームページ「川の防災情報(⑧)」
	携帯メール 自動配信サービス (アラームメール) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前に携帯メール自動配信サービスに登録することで、川の水位が一定の値を超えた時や気象警報・注意報が発表された時などに、メールを受信できます。 奈良県ホームページ「(携帯版) 奈良県 川の防災情報 (⑨)」

特集

きれいで親しみのある 佐保川を目指して

大安寺西川辺のまちづくり協議会の取り組みについて、
奈良市自治連合会の会長でもあり、本協議会会長の
梅林聡介さんにお話を伺いました。



子どもと大人が協力し合って行う「佐保川清掃」

自分たちのまちは 自分たちできれいに

県立図書館情報館を中心とした、佐保川周辺の「大安寺西地区」で昨年6月、地域自治協議会(住民自治によるまちづくりを行うための新たな地域コミュニティ組織)「川辺のまちづくり協議会」が発足しました。その前身は約12年前、奈良県・奈良市・地区自治連合会などで構成された「佐保川を生かしたまちづくりを考える会」です。当時から、佐保川を中心とした地域の環境保全に取り組んでいます。

活動の中心となるのは、佐保川の清掃です。3月に行われる『大和川一斉清掃』、7月の第3月曜日の『奈良県山の日・川の日』を含め、年に4回、清掃を行っています。子どもから高齢者まで、多い時には約700人の参加があります。地域のみなさんが『自分たちのまちは自分たちできれいに』との思いで、一丸となって活動しています。約20年前の佐保川の状況はひどいものでしたが、みなさんの努力のおかげで、水質が改善され、夏になると、子どもたちが川で遊べるようになりました。

インタビュー

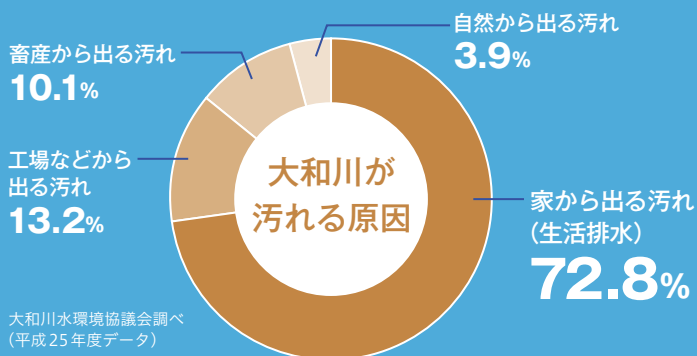


大安寺西川辺のまちづくり協議会
会長 梅林 聡介さん

一人ひとりの取り組みで川の水をきれいに!

— 2月は大和川水質改善強化月間です —

大和川の水質は流域全体の取り組みによって、年々改善されてきていますが、その支川ではまだまだ改善が必要です。水が汚れる原因の約7割は生活排水。川をきれいにするためには、私たち一人ひとりの取り組みが大切です。





1.佐保川の桜並木 2.毎年好評の「川辺の観察会」 3.川沿いにある花壇の植え込み 4.親子で行う「たまねぎの植え付け」

地域の新たなつながりを生む 恒例のイベント

毎年11月の恒例イベント「川辺のまちづくり in 大安寺西」の運営にも力を入れていきます。

佐保川の清掃、川沿いの花壇の植え込み、講師を招いて行う「川辺の観察会」、健康ウォーキング講座、地元の病院や薬局の方々にしていただく『オープンカフェ形式』の医療相談など、多彩な内容です。

川辺の観察会は、子どもが中心となって、花や植物について調べます。この観察会をきっかけに、子どもたちがたまねぎやじゃがいもの植え付けから収穫まで行う活動も始まりました。

ホタルが見られる環境を 地域全体でつくるのが夢

夢は、佐保川周辺をホタルが見られる場所にする事です。10年以上、佐保川清掃を中心とした活動に携わってきて、この地域の環境保全が進み、地域が元気になってきたと実感しています。

この活動がもっと認知され、その象徴として、この地域でホタルが見られるようになれば、うれしいです。

みんなの手で美しい川に



【大和川一斉清掃】

地域のみならず、関係団体、企業、行政と一緒に大和川を清掃します！ぜひ近くの会場で参加してください。集合場所等詳しくは県河川課HPにて掲載しています。

時 令和2年3月1日(日) 午前中

所 大和川流域県内23市町村 約60か所

【メイン会場】奈良市立大安寺西小学校 運動場
(佐保川・菩提川・菟川)

問 県河川課 TEL. 0742-27-7504

家庭でできるちょっとした工夫

残さない



食事は食べる分だけ作り、残さない。残ったら冷蔵庫などで保存！

拭き取る



食器やフライパンは汚れを拭き取ってから洗う。古着を使えば、無駄なごみも出ません。

流さない



三角コーナーや水切りネットを活用して、食べ残しなどは直接流さない。

ごみを減らす



ごみになるものは買わない、もらわない。マイバッグやマイボトルを活用すると家計にも優しい！

大和川水系総合水防演習・奈良県防災総合訓練を開催!

演習テーマ 命を守る備えと行動により、災害に強い奈良をめざして

水害から住民の生命、財産を守るため、社会全体の防災知識の普及と意識の向上を図るとともに、水防の技術と知識の伝承、水防活動における連携・協力関係の構築を図ります。



開催日 令和2年5月17日(日)

場所 大和川・富雄川合流地点

内容 水防訓練、避難訓練、体験コーナー等

今後、展示・体験コーナーの内容や、アクセス方法等について県民だより等で情報発信していく予定です。
みなさまのご参加をお待ちしています。

主催

国土交通省近畿地方整備局、
奈良県、関係市町村

お問い合わせ先

奈良県河川課 河川環境・水防係 TEL.0742-27-7504
大和川河川事務所 調査課 TEL.072-971-1381

「地域の河川サポート事業」参加団体募集!

～河川美化活動を支援します～

地域による河川美化活動を育成し、憩いと潤いのある河川空間を創出するため、地域住民のみなさまが主体的に実施される河川美化活動(河川の清掃・草刈・花の植栽等)を支援します。

プログラムは、3種類あります。活動にあったプログラムでご参加ください。

憩いの川づくりプログラム



内容 草刈り
要件 1回の参加人数10人以上
年間1回以上、延長100m以上、
刈り取り高10cm以下
支援内容 面積に応じた報償金の支給
(㎡×9円)
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置

彩り花つつみプログラム



内容 花の植栽・維持管理
要件 1回の参加人数3人以上
支援内容 面積に応じた報償金の支給
(㎡×320円)
傷害・賠償責任保険の加入
看板の設置
花苗等の物品の支給

ボランティア支援プログラム



内容 清掃
(軽微な草刈りを含む)
要件 1回の参加人数5人以上
年間1回以上、延長50m以上
支援内容 報償金の支給または、
傷害・賠償責任保険の加入

詳しくは県河川課河川環境・水防係までお問い合わせください。

お問い合わせ先 奈良県河川課 TEL.0742-27-7504 URL. <http://www.pref.nara.jp/17237.htm>